

2026

2.25

開場 13:00
13:30-17:00

水

参加費無料

1875-2025

ANNIVERSARY



同志社大学 カーボンリサイクル技術フォーラム シンポジウム カーボンリサイクルを推進する熱利用戦略

会場：同志社大学今出川校地室町キャンパス寒梅館ハーディーホール / Zoomライブ配信

参加登録申込：<https://forms.office.com/r/R2qqX6RZmF?origin=lprLink>

頂いた個人情報はプラットフォームからのご案内のみ使用いたします。

主催：同志社大学カーボンリサイクル技術フォーラム

問い合わせ先：同志社大学カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム事務局

<https://crpf-doshisha.com/contact> / E-mail: pf-carbon@mail.doshisha.ac.jp

2026年2月25日同志社大学カーボンリサイクル技術フォーラムによるシンポジウムを同志社大学今出川校地室町キャンパス寒梅館ハーディーホールで開催します。今回のシンポジウムでは熱エネルギーや合成燃料にフォーカスします。

先ず気象変動対策を巡る世界情勢を俯瞰し、日本の進むべき道について探ります。その上で熱利用と合成燃料についてのプログラムを組みました。カーボンニュートラリティを達成するためにはCO₂の発生源と発生量を検討することが重要です。日本のエネルギー需給動向をみると、化石燃料が主に占める1次エネルギー供給量のうち、実際に利用されるエネルギーはその2/3程度です。残りの1/3は排熱として大気へ放出されています。実はその際にCO₂も同時に排出されています。従って、エネルギーの産業利用方法を見直し、これまで捨てられてきた排熱の活用を推進することはCO₂の排出量の削減に貢献します。さらにCCUSに係る技術開発ではCO₂の排出回収動向だけなく、それに関わる熱エネルギーも存在感が増しています。

— プログラム —

13:30-13:35	開会挨拶	同志社大学	学長 小原克博
13:35-13:40	座長挨拶	カーボンリサイクル技術フォーラム座長 東京大学名誉教授／一般財団法人エネルギー総合工学研究所 理事長 寺井隆幸	
13:40-14:10	基調講演「気候変動対策を巡る世界情勢と日本の進むべき道」 電力中央研究所	社会経済研究所研究推進マネージャー 上野貴弘	
14:10-14:40	講演1 「Waste heat valorization research and projects at Ghent University and the EU」 ゲント大学（ベルギー）工学及び建築学部	教授 Michel De Paepe	
14:40-15:00	講演2 「ヒートポンプによる産業排熱の有効利用と技術動向」 ダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンター 戰略室 本郷一郎		
15:00-15:20	講演3 「カーボンニュートラル実現を目指した取り組み」 ENEOS株式会社中央技術研究所	サステナブル技術研究所長 早坂和章	
15:45-16:05	報告 「2025年度の技術フォーラムの活動報告」 同志社大学理工学部		教授 後藤琢也
16:10-16:55	パネルディスカッション「再生可能エネルギーと地域利用について」 ファシリテーター：寺井隆幸（座長） パネリスト：後藤琢也（同志社大学）、上野貴弘（電力中央研究所）、 本郷一郎（ダイキン工業）、水口浩司（同志社大学）		
16:55-17:00	閉会挨拶	同志社大学カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム 事業実施統括／研究開発推進機構	機構長 副学長 後藤琢也

場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は、
2月24日（火）までに pf-carbon@mail.doshisha.ac.jp にご希望の内容をお知らせください。
ご要望内容を検討させていただき、できる限りの対応を取らせていただきます。
講演者・タイトル等は変更される可能性があります。



同志社大学
Doshisha University